SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

Japanese Course for Graduates (Shizuoka Campus)(Annual Report (2nd semester, 2017・1st semester, 2018) I Japanese Language Education)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00026310

はじめに
―「国際交流センター」から「国際連携推進機構」へ―

静岡大学では、教育のグローバル化に向けた全学的体制の強化をめざし、平成29年10月1日に、国際交流センターとグローバル企画推進室を統合して「国際連携推進機構」を新たに立ち上げました。新たな機構の下、留学生の受入拡大や、アジアブリッジプログラム（ABP）の副専攻の充実をはじめ、全学的な教育のグローバル化を推進していきます。

Ⅰ　日本語・日本事情教育

日本語研修コース（初級）・日本語補講

熊井　浩子

1．コースの概要

29年度後期（第34期）は、教員研修留学生が正規生として2名とABP修士1年生のインドネシアの学生1名、計3名が初級クラスを受講した。ABP修士は通常週4コマの日本語教育プログラムを受講するが、この学生は指導教員が海外研修中であること、及び、かつてその専攻の研究室に所属していた学生が日本語研修コースを受講し、ドクター取得後は母国の大学で教員となって、本大学との学術・学生交流の中心として活躍していることから、日本語教育の必要性・意義を非常によく理解してくれていたこともあって、28年度後期に引き続きABP修士として二人目の集中コース参加者となった。

教員研修留学生1名とABP修士学生は多少日本語の知識があり、全くの初心者である1名とスタートでは多少の差があったが、タイプの違う3名がそれぞれ助け合って熱心に勉強したため、ゼロスタートの学生を含めて順調に学習を進めることができた。

なお、28年度より、交換留学生や日本語・日本文化研修留学生がこの科目を履修した場合には、全学教育科目として全15単位を取得可能となったが、29年度より、大学院生も全学教育科目としての受講が可能となった。また、15コマ全部ではなく、科目ごとの履修もできるようになった。今回のABP修士生はこの全学教育科目として15単位が認定され、教員研修留学生については、国際連携推進機構科目として修了証が授与された。

30年前期は受講者が1名もいなかったため、そのうちの「日本語と文化（旧「日本の生活」）のみを日本語研修コースとして開講した。残りの14コマのうち、7コマを静岡キャンパスで、2コマを浜松キャンパスで補講授業として開講し、受講者には受講証が授与された。

2．授業期間

日本語研修コース（第34期）　平成29年10月２日～平成30年２月２日　15週
日本語補講・「日本語と文化」　平成30年４月10日～平成30年７月27日　15週

3．平成29年度後期　日本語研修コース（第33期）

3．1．受 講 者

クラス	受講者	国	所属・在籍身分
日本語1	1	モンゴル	教育学研究科・研究生（教員研修留学生）
	2	ガボン	教育学研究科・研究生（教員研修留学生）
	3	インドネシア	総合科学技術大学院（ABP修士）

3．2．時 間 割

日本語1

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
3・4時限 10:20～11:50	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
5・6時限 12:45～14:15	漢字	作文	聴解	日本の生活	会話

3．3．授業内容

日本語Ⅰ（入門）
目標：日本語の基礎的な構造・表記を学び、日常生活における基本的なコミュニケーション力を身に付ける。

基礎日本語　10コマ／週
目　　的：日本語の基本的な構造・表記を理解し、日常的なコミュニケーションの基礎を身につける。
内　　容：初級文型の総合的なコミュニケーション練習
使用教材：『みんなの日本語　本冊』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）
『みんなの日本語　翻訳・文法解説　英語版』初級Ⅰ・Ⅱ（同上）
『日本語かな入門　英語版』（国際交流基金）

会　話　1コマ／週

目　　的：既習項目を使って、日常生活のさまざまな場面で、いろいろな活動・コミュニケーションができるようになる。その活動をとおして、異文化の考え方・習慣を学ぶ。

内　　容：基礎日本語の既習事項の運用練習。

使用教材：『みんなの日本語　初級Ⅰ・Ⅱ』本冊・DVD

聴　解　1コマ／週

目　　的：日本語の音声から必要な情報を得られるようになる。
日常生活において基本的なコミュニケーションができるようになる。

内　　容：CD・テープ・ビデオなどを使った聞き取り練習及び発音練習。

使用教材：『聴解タスク25』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）
『楽しく聞こう』(文化外国語専門学校）等適宜

作　文　1コマ／週

目　　的：既習の語彙や文型を文章の中で適切に使えるようにする。さまざまなテーマで作文を書くことによって、語彙・表現を増やす。

内　　容：全体的な構成を意識しながら、日常的なトピックについて作文を書く・文集作成

使用教材：『やさしい作文』(スリーエーネットワーク）

漢　字　1コマ／週

目　　的：日常生活・勉学生活に必要な基本的漢字の読み書きを身につける。
日本語研修コース修了後も自分で学習を継続できるような漢字学習法を学ぶ。

内　　容：初級前半の漢字の読み・書き、読解

使用教材：『みんなの日本語　漢字　英語版』Vol.1（スリーエーネットワーク）
Basic Kanji Book VOL. 1（凡人社）
『みんなの日本語　初級で読めるトピック25』(スリーエーネットワーク）

日本語と文化　1コマ／週

目　　的：主に新規来日の学生を対象とする。スムーズに日本の生活に適応するため、基礎的な日本文化・社会に対する理解を深める。

内　　容：日本の文化・習慣など、日常生活で最低限必要なこと。見学などを随時行なう。

使用教材：適宜

4．平成30年度前期　日本語補講・「日本語と文化」

4．1．受 講 者

キャンパス	クラス	受講者数
静　岡	日本語1	1
	日本語2－1	4
	日本語2－2	1
	日本語3	5
	日本語4	13
	日本語5	13
	日本語と文化＊	11
浜　松	日本語2	18
	日本語3	11

＊：日本語研修コースとして開講

4．2．時 間 割

日本語補講・「日本語と文化」

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10				日本語2－2 （日本語総合）	日本語4 （N2対策）
3・4時限 10:20～11:50	日本語2－1 （漢字）				日本語3 （読解）
5・6時限 12:45～14:15	日本語1 （文字）		日本語5 （日本語総合）	日本語と文化 （日本の生活）	
	日本語2＊ （漢字）		日本語3＊ （漢字）		

＊：浜松キャンパス

4．3．授業内容

日本語補講・「日本語と文化」

目標：それぞれのレベルの日本語教育プログラムで学んだことをさらに発展させ、それぞれの技能を伸ばす。

●静岡キャンパス

日本語1　1コマ／週

目　　的：日常生活に必要な基本的漢字の読みを身につける。

内　　容：基本的な漢字と漢字語彙の学習
使用教材：『にほんご45じかん』（専門教育出版）・プリントなど

日本語２－１　1コマ／週
目　　的：日常生活に必要な基本的漢字の読みを身につける。
　　漢字語彙の学習。
内　　容：基本的な漢字と漢字語彙の学習
使用教材：『みんなの日本語Ⅰ　漢字　英語版』（スリーエーネットワーク）など

日本語２－２　1コマ／週
目　　的：日常生活（大学生活を含む）に役立つ会話ができる。
内　　容：文章を読み、文法練習をする。会話、聴解、作文の練習をする。
使用教材：『にほんご　つぎの45じかん』（専門教育出版）

日本語３　1コマ／週
目　　的：実際にあるさまざまな話題の文章を読むことによりやや高度な文法・漢字・語彙を習得する。一般的なことがらについて、会話ができ、読み書きできる。
内　　容：新聞やインターネットの記事など実際にあるさまざまな話題の文章を読む。文法、語彙練習をする。漢字・文法クイズを行う。
使用教材：『日本語総まとめN3読解』（アスク出版）

日本語４　1コマ／週
目　　的：新聞やネット記事の読解や文法項目の学習を通してN2レベルの日本語力を身につける
内　　容：N2対策
使用教材：『どんな時どう使う日本語表現文型500』（アルク）

日本語５　1コマ／週
目　　的：かなり高度な読解力、聴解力を身につけ、JLPT・N1合格を目指す。
内　　容：N1レベルの教材を用い、各自の弱点を補いつつ、さらに上級の日本語を身につける。
使用教材：適宜

日本語と文化　1コマ／週
目　　的：日本の生活にスムーズに適応するために、日本社会に関わる様々な情報を得る。また、日本文化の体験学習を通じて、日本文化に対する造詣を深める。
内　　容：⑴学習者の文化と比較しながら日本文化についての知識を深める。
　　⑵体験学習の実施により、具体的に日本文化に触れる。
　　⑶授業は基本的に英語で行われる。

使用教材：『日本事情入門』（アルク）

●浜松キャンパス

日本語２　1コマ／週

目　　的：日常生活に必要なレベル（N5）の語彙、漢字を習得する。
内　　容：基本的な漢字と漢字語彙の学習
使用教材：『漢字たまご　初級』（凡人社）

日本語３　1コマ／週

目　　的：日常生活に必要なレベル（N4、N3）の語彙、漢字を習得する。
　　習った知識を使って、文章を読めるようにする。
内　　容：初級から中級にかけての漢字と漢字語彙の学習
　　漢字仮名交じり文の読解
使用教材：『語彙マップで覚える漢字と語彙　初級1400』（Jリサーチ出版）